

平成30年11月6日(火曜日)にH I V講演会を開催しました。

テーマ 「H I Vを知る」～H I V感染症の基礎知識と看護の実際～

- 講義内容
1. H I V感染症と治療
 2. H I V担当薬剤師の役割と服薬支援
 3. H I V看護の基礎知識と看護の実際

参加者は22名でした。講義内容は基礎的でわかりやすいものであり、参加者からは「本人だけではなく家族への支援も非常に重要だとわかりました」という感想が寄せられました。この講演会はH I V看護師会のメンバーだけではなく、担当医師・薬剤師・MSWとの連携を持つ機会となりますので、今後も多くの方の参加をお待ちしています。現在、77名の患者さんが通院しています。皆さんの病棟に入院することもありますので、質問や相談がありましたら、内科外来担当看護師にお問い合わせください。

第32回 日本エイズ学会学術集会参加報告

月日：2018年12月2日～4日

場所：大阪国際会議場/大阪市中央公会堂

主催：一般社団法人日本エイズ学会

- HIV感染者にA型肝炎が増えている
ワクチン接種をすすめることが必要です。
- 治療が進歩し、独居・高齢の患者が増加
緊急時などの対応について、患者本人の思いや希望を、事前に話し合っておく必要があります。
- 生活習慣病を抱えている患者が増加
HIVは慢性疾患です。治療が長期になる患者のQOLを高めるためにも、生活習慣病予防に向けた介入が必要です。
- 子供の発症で母子感染が発見された事象より
HIV抗体検査は、妊娠初期に行います。妊娠初期検査が陰性でも、その後陽性となることもあり感染の可能性があります。母子感染を予防するための新たな知見を得ることができました。



HIV看護師会メンバー

菅原副部長	最上看護師長
佐々木看護師長	松田看護師長
白井看護師長	杉山看護師長
多羽田副看護師長	村上副看護師長
宮越副看護師長	

【お問い合わせ・相談先】

内科外来 村上・宮越まで